

# 全国高等学校インテリア科教育研究大会 熊本大会 のアンケートのお願い

全日研熊本大会に参加していただきありがとうございました。至らないところも多々あったかと思いますが、無事終了することができました。これも皆様の御協力のおかげと感謝しております。  
さて、今回は市川工業高校での50周年大会となりますが、熊本大会についてのアンケートを実施して今後の参考にしたいと思いますので、ご多忙中誠に恐れ入りますが、御協力よろしくお願いします。  
なお、裏面に熊本大会の日程を印刷しておりますので参考にしてください。

## アンケート事項

- ・よかったこと ベスト3
- ・気になったこと ベスト3
- ・印象に残ったこと ベスト3(大会日程に限らず)
- ・全体的な感想
- ・50周年大会に向けての要望

## 熊本大会参加者のアンケート結果

1	<p>木材工芸技術競技会③④⑤⑥⑦⑬⑰⑱</p> <p>(③全国の先生方に見ていただき、全国大会の足がかりができたと思う ④生徒参加形式の良さを感じた)</p> <p>(⑤高校生のものでづくり大会が全国大会に発展する姿が感じられた)</p> <p>(⑥科の内容にあったものでづくりコンテストの第一歩が踏み出した(九州全県参加も良かった))</p> <p>(⑦生徒が全力を尽くして取り組む姿と、完成後の生徒の交流(意見交換))</p> <p>(⑬本校が参加できて良かった ⑰生徒引率で出張しやすく、大会の参加人数も増え盛り上がる)</p> <p>(⑱木材工芸技術競技会を同時に実施したこと(単なる研究会と違い「インテリア科の集まり」という感が強かった))</p>
	<p>宮後氏の講演⑨⑩⑭⑮⑯⑳㉑</p> <p>(⑨パースが仕上がる様子に感激した⑩パースを描くようになった経緯が聞けて良かった)</p> <p>(⑭実際に現場で活躍されている宮後先生の講演が聴けたので ⑮自分が高校生の時のバイブルに出会え感激しました)</p> <p>(⑯パースに対する熱い思いの伝わる内容でたいへん良かった ㉑日頃から参考にさせていただいている先生の講演が聴けて良かった)</p> <p>(㉑科のパース実習で参考にしていた本の作者に会えパースとは何か改めて考えることができた)</p>
	<p>事前調査で冊子に掲載した各校の実習内容⑪⑫⑬</p> <p>(⑪各校の取り組みが分かりやすく掲載され良かった ⑫各校の実習展開がわかりよい情報交換となった)</p>
	<p>各学校の資料が集まり、研究発表者以外にも発言の機会があった点が良かった①</p>
	<p>各校の研究発表(発表していただいた学校の特色や地域とのつながりを強く感じたいへん参考になった)⑭</p>
	<p>全国での取り組み状況や抱えている課題等を知ることができた</p> <p>(本県でインテリア科設置校は本校のみであり、離島のため他校同科の情報収集等が困難だったため)⑧</p>
	<p>夕食懇談会(先生たちとの情報交換でやる気・元気をもらった)②</p>
	<p>大会全体の運営(熊本県内の各校の役割がしっかりと取れていたこと)㉒</p>
	<p>宮後氏の講演②⑦⑤⑥⑱</p> <p>(⑤パース作品の高校が担う役割が良かった ⑥パースの役割と取り組む姿勢がよくわかったので今後の指導にも生かせる)</p>
	<p>研究発表3題⑨⑩⑭</p> <p>(⑨都城工高の山鹿先生のVTR ⑩とても刺激になる)</p>
2	<p>木材工芸技術競技会⑪⑰⑱㉑</p>
	<p>木材工芸技術競技会の課題⑮</p>
	<p>各学校の作品展示は参考になった⑯</p>
	<p>競技会を始め熊工の様子を見ることができた⑩</p>
	<p>文科省持田調査官の講話㉒</p>
	<p>2日目の大会で生徒の姿が見られたこと①</p>
	<p>資料の充実、名札や土産のストラップ等、細かな気配りが嬉しく楽しかった⑧</p>
3	<p>研究発表②⑦⑳</p>
	<p>研究協議⑥⑩</p> <p>(⑥各校の取り組みや授業内容などを資料としてまとめてありとてもわかりやすかった。地区の発表も良かった )</p> <p>(⑩各校の実情がわかった)</p>
	<p>秋山木工のDVDで①⑪</p> <p>(①卒業生の様子が感動的に伝わってきたこと )</p>
	<p>木材工芸技術競技会⑨⑭</p>
	<p>大会冊子に学校資料が掲載されていたこと⑤</p>
	<p>宮後氏の講演㉑㉒</p>
	<p>「新学習指導要領の実施に向けて」～これからの工業教育～⑮</p>
	<p>研究発表も各学校の実習や取り組みの実態がわかって良かった。⑯</p>
	<p>他校の先生方と親交を持つことができた⑬</p>
	<p>熊本大会のお土産⑱</p>
<p>九工研インテリア系分科会③⑥⑱㉑</p> <p>(③会費のあり方(すんなり決定されと思ったが、持ち越しになったため ⑥みんなが会のことを真剣に考えておられることが伝わった)</p> <p>(⑬議題での会費の件 ⑱様々な検討事項を話し合うのには時間不足 ㉑考えの相違がある)</p>	

よかったこと

気になったこと	研究協議②⑩⑳
	(②事例発表校が多かったので質問しづらかったかもしれない ⑩大会日程の都合で仕方ないかと思うが、研究協議の時間が少ない)
	(⑩各校発表してくれたが、もっと詳しく知りたいものもあった。テーマを設定すればよかった。)
	木材工芸技術競技会⑨⑭
	(⑨会場(天気が良すぎて陽当たりが良すぎた) ⑭審査の基準がわかりにくかった)
	懇親会(抽選会等盛大で本校当番時にはこれだけのことができるか不安になった)⑤
	1 参加者への記念品(ストラップ)⑦㉒
	(⑦みんな喜んでいて ㉒嬉しかったが、余計に経費がかかったのではないかと)
	2年に1回の大会なのに委任が7校あったこと⑫
	もう少し展示スペースがあり、各校の作品があると良い(作品やパネル等を見て参考にしたい)⑬
	日程がタイトで少し疲労感があったこと①
	新規入会の学校があったこと⑩
	卒業後にインテリアまたは建築系の進路へ向かわせているための工夫している点はないか(本校でもインテリア・建築系への進路選択の生徒が少なく、その進路指導や開拓に苦慮しているため)⑧
	参加者の減少が気になります(この先もっと減少すると思われます。全イ研の組織自体が危ぶまれます)㉓
	2
(⑦作品をみて勉強になった。他の作品をもっと見てみたい ㉒開催地域の方々にも見ていただけるようにしてはどうでしょうか。)	
講演(無理して講演を行わなくてもよいと思う。)⑪	
ものデザインコンテスト表彰式(生徒の参加費が難しいので)⑭	
今後の木材工芸技術競技会のあり方について⑬	
教育庁や文科省の方の話にインテリアの視点が弱かったこと①	
次期当番校(50周年大会と創立70周年と事務局とで市川工高はたいへんと思う。できるだけバックアップを)⑥	
各校でのインテリア科職員の構成状況(インテリア・建築・デザイン)⑧	
3 技術競技会の結果(結果を求める余り参加校を増やすことへの気配りがなくなっている面はないか)⑥	
DVD鑑賞(競技会と同時であり見ることができなかった)⑭	
JAFICAとの交流についての提案⑬	
宮後先生の話もさることながら実技の一端を見せていただけるとありがたかった。⑱	
開会行事・総会の時間が長い⑳	
印象に残ったこと	木材工芸技術競技会⑦⑬⑭⑱
	九州地区の先生方のチームワークの良さ①④⑱
	福井高校の加入⑥⑫
	(⑥年々会員が減る中で、久々に新加入校があったことは喜ばしい)
	熊本城を見学できた⑪⑮
	(⑪本丸御殿はすばらしかった。現地見学が地方開催の醍醐味だと思う ⑮大会日程で建造物等の教育視察があれば良かった)
	宮後氏の講演⑬⑰
	水前寺公園が修学旅行以来40年ぶり②
	数多くの先生方と情報交換ができた③
	熊本県内のインテリア科の先生の協力⑤
	秋山木工のDVD「丁稚」⑨
	歓迎の言葉にあった熊本の水道水は100%地下水ということ⑩
	ネームプレートが工夫されていた⑲
	学校の環境がよい。県庁に近く、広い敷地に驚いた⑳
	全国的に見てもインテリア科単独で2クラス設置している学校は本校だけであり、他校はコース制や類型分け等を実施し特色ある学科作りに苦慮している点⑧
	水前寺公園の散歩が良かった㉓
	1 熊本工業高校を見れた⑤⑪⑫⑱
	(⑤熊工の伝統と施設・設備の充実 ⑪拝見できた。大きい! ⑱熊工の立派さ)
	秋山木工のDVD「丁稚」⑥⑱
	(⑥木工職人を目指す若者の真剣な取り組みに感動した ⑱秋山社長の大会出席)
	宮後氏の講演⑦⑭
	2 熊本城、朝日の当たる美しい城や石垣、楠の緑を見ながらジョギングしたこと②
	持田調査官との夕食8/1⑩
	各校の作品⑬
	参加者に用意された名札に工夫がされ、学科の特性が生かされていた㉒
	熊本市が政令都市になること㉓
	3 清掃の行き届いた校内⑤
	市川工高の科紹介DVD(インテリア科の教科内容をわかりやすくまとめてあり、各校で使える内容でした)⑥
	会場に展示してあった各校の作品(本校も展示すれば良かった)⑦
	熊本城・水前寺公園を見れたこと⑫
研究発表⑭	

木材工芸技術競技会の視察⑩  
終わった後、見に行った熊本城⑩

全体的な感想

- ①当番校及び事務局の方々の準備のおかげで充実した研修の機会となりました。ありがとうございました
- ②他校の取り組みやインテリア科の状況の厳しさを知り改めてがんばろうという気持ちを持つことができた大会でした
- ③ものデザインコンテスト作品や各校の実習作品が、今後本校での作品づくりの参考になりました。講演「イメージを形に」と秋山木工のDVD鑑賞がより専門性が高く勉強になりました
- ④司会進行など当番校以外の学校が担当するなど九州地区として運営している印象があり、良かった
- ⑤全国大会の準備だけでも大仕事のところ、競技会の準備もたいへんだったと思います。木材工芸技術競技会が開催されると聞き是非参加し目にしたと思っていたので、たいへん参考になり有意義な大会でした。
- ⑥3日間とも内容の濃い研究大会だったと思う。熊工の先生方の負担が大きかったと思うが、費用の面等も改善され他県で担当された場合でもやれる目途がたつたと思う。今後大会の運営はますますたいへんになると思いますが、今回費用をかけなくても工夫次第で充実した大会ができるひとつの方向性が見えてきたのではと感じています。熊工の先生方のご尽力に感謝します。
- ⑦全国のインテリア科の取り組みを知ることができたことや、先生方と話すことができ励まされたり勉強になったことが多かった。全イ研と民間団体との協力体制は今後のインテリア科のあり方を考えていく上で重要なポイントになると感じた。進路確保の難しさは各校苦勞されている。そういう意味ではインテリア設計士協会との協力体制が打ち出されたのは良かった。益々民間団体との結びつきを強めていくことが必要だと感じた。技術競技会では、どの生徒も一生懸命に取り組んでいる姿があった。それぞれの学校の指導に違いも感じたが、殆どの生徒が時間内に作品を完成させ、結果発表後にはそれぞれの作品を手に取り、出来映えを確認する姿が印象的だった。技術の向上と交流が見られ、今後の技術交流会の発展を思った。
- ⑧各県・各地域での特色ある授業内容等、全国大会ならではの情報収集ができ、実りある大会だったと思います。会場や資料準備等、多忙な中でも細かな気配りが感じられ非常に感謝しております。ありがとうございました。
- ⑨熊本県の先生方のご尽力でとても有意義な大会だったと思います。各県・各学校の様子や活躍を直に知ることができました。年々会員校や会員が減り寂しい限りですが、今後もできるだけ協力していかなければと感じました。展示物等興味深かったのですが、直接作品についてのお話をお尋ねすれば良かったと後悔しています。
- ⑩大会ではたいへん御世話になりありがとうございました。8/3の高校生木材工芸技術競技会が見られず残念でした。
- ⑪担当校として多大なご尽力を頂いたことに感謝申し上げます。九州地区の結末は、鹿児島大会と変わらないものを感じました。なかなか遠くまで来ることはなく、こうした機会が勉強の場となります。地元の先生方にはご迷惑をおかけしますが、全国組織を続けて欲しい理由の一つです。また、各校の取り組みが記載されたのは初めてかと思えます。大変参考になりました。毎年はお互いに大変でしょうから、テーマを決めて報告してもらおうありがたいと思います。
- ⑫熊工や九工研の取り組みを直接目にすることができ、今後の本校工業教育に刺激を受けた。大会の準備・運営・まとめお疲れ様でした。感謝します。
- ⑬技術競技会に参加できたことは良かった。この大会を九工協に認めてもらいせめて九州ものづくり大会で実施できると良いと思います。といった話し合いがなされると思っていたのですが、あまり進展がなかったので少し心残りです。
- ⑭宮後先生の講演が聴けてとても良かった準備もたいへんだったと思いますが、ありがとうございました。
- ⑮教育懇談会ではテーブルの先生方とはいろいろ伺うことができた。スピーチしたい学校代表による場があっても良いのかなと思いました。九州の味はやはりいいものです。準備と当日の運営、本当にご苦勞さまでした。
- ⑯内容が多くスケジュール的にかなり詰まった感じはあったが、充実した大会だった。講演や各校の発表は参考になり今後の本校での取り組みに役立てていこうと考えている。各校の展示物も興味深いものだったが、できればもっと数がそろえば充実したものになると思う。冊子に各校の取り組みが載せられたが、実物が無理なら写真(パネル)での展示も実施してもらおうと参考になると思う。木材工芸技術競技会は生徒たちの熱心な姿や各校の技術の高さに感心させられた。しかし、全国大会への壁はまだ高いという感も受けた。各地区でこのような大会が行われ早い時期に全国大会が行われるよう宮崎も頑張ります。
- ⑰1時間程度でも良いので何らかの問題点について小グループでディスカッションするのも良いのではないかと思います。
- ⑱必要な情報のやりとりはメール等で手軽にできる世の中になったが、やはり顔をつきあわせて意見交換するのは大事なことだと感じた。2年に1回なので毎回顔ぶれは変わるし開催地によってどれくらい集まれるかも変わるが、今回は九州の先生たちと話をできたのが貴重でした。
- ⑲熊工と熊本県内のインテリア科の先生方、大会運営・準備等本当にお疲れ様でした。九州の仲間としてもっとお手伝いできれば良かったのですが、全体的な感想としては、九工研のあり方やものづくり大会の運営等について時間をかけて検討していければと思いました。
- ⑳以前の鹿児島大会ではお手伝い程度の参加、今回初めて全体的に参加した。直接他県の先生方とお話してきたことが一番でした。統廃合により減少している現在の状況から今後のインテリア科のあり方を真剣に考えなくてはならないと感じました。
- ㉑中身の濃い充実した大会でした。熊工他関係の先生方に感謝します。生徒参加を大会に入れることはたいへん良かったと思います。このような競技会を今後の大会でも検討していきたいです。
- ㉒九州地区での大会は初めて。九州は盛り上がると思っていたが噂どおりだった。内容も豊富に感じ、研究大会中に生徒の工芸技術大会をもうけることで、規模の大きな大会になったと思う。競技会に参加した生徒の技能の高さに驚かされ、木工の盛んな九州地区の強さを感じた。今回は時間的なこともあり分科会に参加できなかったが興味があったこと、学校内の施設等について知れたかった。また、何かの機会にお願いしたい。
- ㉓以前に比べ先生方や企業の参加が少なくなりこじんまりとした感じがします。しかし、これも時代の流れなのでしょう。私どもも統合の流れには勝てず、単一の科として残れませんが、大会に参加すると元気が出て頑張ろうと思えます。これからどのような形になるかはわかりませんが、生徒のために「インテリア」の教育は残していかなければならないと思います。ご苦勞様でした、ありがとうございました。

50周年大会に向けての要望があれば

- ㉔できるなら第1回全国木材工芸技術競技会を開催してほしいものです。
- ㉕東京に近いこともあり、JAFICAの参加(出席)を希望し、話を聞いてみたいと思います
- ㉖市川工高の負担が大きくなりないように特に関東地区の先生方の協力を期待しています。1校でも多くの参加で皆でバックアップをお願いしたい。
- ㉗ものづくり大会で木材加工部門が小屋組になり、なかなか取り組みにくい。九州のような課題部門ができれば実施までこぎつけたいと思います。ただ、北信越ブロックにはインテリア系を持つ学科がないのでどうすればいいでしょうか。いきなり全国大会でもいいのですか。
- ㉘個人的な思いですが、50周年とはいへん形式張らずにいつものアットホームな感じで開催されると嬉しいです。
- ㉙多くの先生方が参加できるような手立てを検討していただければありがたいです。
- ㉚良い大会になるように協力したい。
- ㉛中央での大会であり、できるだけ多くの参加を考える必要がある(大会中の競技会やコンテストなどにより生徒の参加や引率職員等)。

※当番校の熊工を除く、すべての学校から回答をいただき、ありがとうございました。